

## 臨床研究（調査研究）へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター 麻酔科では「2018年4月から2020年9月までに全身麻酔下に斜視手術、扁桃摘出術、アデノイド切除術を受けた」患者さんを対象に「麻酔方法による全身麻酔後の覚醒時興奮の発生の違い」についての調査（研究）を行っております。下記の内容をお読みいただきご協力くださいますようお願いいたします。

**課題名：**全身麻酔後の覚醒時興奮を予防するための低用量プロポフォール持続静注の有用性の検討

**研究の目的：**小児、特に就学前の小さなお子さんでは、全身麻酔から覚める際に興奮して暴れてしまうことがしばしばあります。手術が終わった後に暴れてしまうと点滴が抜けてしまったり、傷が開いてしまったりと患者さんに不利益となってしまうため、できる限り対策が必要です。この研究では、麻酔から覚める際の興奮を予防する方法の一つとして、低用量プロポフォール持続投与の効果調べています。また、プロポフォールには手術後嘔吐の頻度を減らす効果があることがわかっており、低用量プロポフォール持続投与による嘔吐予防の効果についても調べています。

**研究に利用する情報の項目：**電子カルテおよび麻酔記録から、年齢、体重、基礎疾患、乗り物酔いの有無、過去の術後悪心嘔吐の有無、麻酔方法、術式、術中使用薬、術後嘔吐の有無、術後嘔吐の時間、初回飲水時間、麻酔担当医、麻酔時間などのデータを取り出して使用します。

**研究対象の範囲（調査対象期間と対象疾患など）：**2018年4月から2020年9月までの期間に全身麻酔を受けた患者さんの中から、斜視手術、扁桃摘出術、アデノイド切除術を受けた患者さんを対象に研究を行います。

**情報の管理について責任を有する者：**麻酔科 医長 宮本義久 / 麻酔科 医師 三宅友彬

**個人情報管理者：**麻酔科 部長 中村信人

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日（2017年2月28日一部改訂））に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

- ・本研究は企業等からの資金提供は受けておりません。
- ・研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合、情報は使用いたしません。解析が終わったあとは情報の削除が困難となりますことをご承知おきください。また、情報利用に同意いただけないことにより診療や看護等において不利益を被ることはありません。

（苦情の受け付けは倫理委員会事務局となります。）

連絡先 研究責任者 麻酔科  
宮本 義久

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel : 045-711-2351 内線 2212